

理學士遠藤吉三郎著

實驗隱花植物學

東京裳華房發行

序

我が國ニ於ケル植物學ハ過去二三十年間ノ短日月ニ於テ著シキ進歩ヲ致セリ其以前ニ在リテハ僅カニ五六ノ歐米植物學者ガ本邦所産ノ植物ノ一端ヲ世ニ紹介セルニ過ギザリシモ今日ニ在リテハ邦人自ラ之レヲ調査研究シ敢テ外人ノ助ケヲ藉ラザルノミナラズ我が國ニ於テ日ニ月ニ出版セララルル幾多ノ調査報文ハ歐米學術界ニ於テ重ンゼラルルヲ見ル

進歩斯クノ如シト雖モ詳カニ其内容ヲ檢スレバ其進歩ハ顯花植物ニ於テノミ著シク隱花植物ニ於テハ往々其域ニ達セザルモノアリ之レ同人ノ頗ル遺憾トスル所ニシテ且ツ日常之レガ爲メニ被フレル不便甚ダ大ナリ其ノ斯カル所以ノモノハ隱花植物ノ性狀ハ顯花植物ノ其レニ比シテ較ヤ解シ難キニモ因ルナランカナレドモ要スルニ初學者ノ爲メニ適當ナル參考書ヲ

缺クハ其一大原因ナルヲ信ゼント欲ス本書ハ敢テ此缺ヲ補ハ
ント擬スルニ非ズト雖モ頼リテ以テ多少隱花植物ノ如何ナル
モノナルヲ會得セシメ或ハ其研究ヲ誘フヲ得バ實ニ斯ノ道ノ
幸福トスル所ニシテ豈著者ノ光榮ノミナランヤ

本書ハ初學者ヲシテ隱花植物一般ニ通ゼシメン事ヲ目的トシ
タレドモ中學校程度以上ノモノヲ標準ト爲シタルヲ以テ簡易
ナル事ハ屢之レヲ省畧シ又ハ普通ノ術語ニハ説明ヲ附セズ
本書ハ題シテ實驗隱花植物ト稱スレモ述ブル所ハ主トシテ形
態學及ビ分類學ニ關スル事項ニシテ其他ニ及ブ事少ナシ是レ
我が國ニ於ケル隱花植物學ノ發達ノ程度ハ未ダ其生理生態組
織等ノ諸點ニ就テ詳述スルヲ急トセザレバナリ然レモ本書若
シ版ヲ重ヌルノ日アルニ至ラハ此等ノ諸點ニ向テ増補セン
松村博士著植物名鑑隱花植物部ハ此部門ヲ學ブ者ニハ一日モ

缺クベカラズ該書ニハ本邦隱花植物ニ關スル文献ヲ列舉シアレ
レモ本書ニ於テハ更ニ各類ノ末尾ニ當リテ邦文參考書ヲ舉ゲ
タリ但シ此等ハ決シテ悉皆ヲ網羅シタルモノニ非ズシテ特ニ
要用ナルモノヲ選ベリ然レドモ或部門ニ於テ指示スベキ參考
書ナキ時ハ或ハ斷片零碎ト雖モ舉ゲタルコトアリ是レ學者ガ
一步進ミテ詳細ナル點ヲ知ラント欲スルニ對シテ便益甚ダ多
カラザルベシト雖モ之レニ依リテ或部門ガ幾何ノ程度ニ於テ
邦人間ニ知ラレ居ルヤヲ認ムルノ一端ト爲スベク又以テ自己
ノ手腕ノ孰レノ野ニ要セララルヤヲ察スルヲ得ンカ
本書ハ素ヨリ空讀者ノ需メニ應セントテ筆ヲ執リタルニ非ズ
徒ラニ讀過スルノミニテハ本書ハ讀者ヲ益スルコト遙カニ他
ノ著書ヨリモ尠ナルベシ原來植物學ヲ修メント欲スルモノ
ハ實驗ヲ主トセザルベカラズ書籍ハ然ル後ヲ始メテ解スルヲ

得ベシ本書ニ於テハ所々ニ實驗ノ方法材料ノ所在ヲ記シ以テ
自修者ニ便ニセリ學者若シ之レニ隨テ研究シ傍ヲ本書ニ解説
スル所ヲ精讀ナサバ發明スル所尠ナカラザルベキヲ信ズ但シ
顯微鏡其他ノ用法ニ關シテハ之レヲ三好博士著實驗植物學或
ハ安田學士著植物學汎論ニ譲リ本書ニハ一切之レヲ省ケリ
實驗材料ハ出來得ベキ丈ケ手近ニ在ルモノヲ擇ビ且ツ容易ニ
發見シ得ベキモノヲ取レリ之レガ爲メニ檢束セラレタルコト
一再ニ止マラズト雖モ到底此累ヲ脱スルコト能ハズ隨テ往々
解説ノ範圍ヲ制セラレタルハ著者ノ遺憾トスル所ナリ然レモ
机上ニ於テ廣ク煩多ノ記述ヲ空讀センヨリハ實物ニ當リテ狹
ク精細ニ觀察スルハ遙カニ利益多キヲ信ズ
本書全般ヲ通覽セバ一部ニ精シク他部ニ粗ナルコト及ビ或部
ハ卑近ニ過ギ他ノ部ハ稍ヤ高尚ナル等ノ不平均ヲ認ムベシ之

レ他ナシ隱花植物中ニ於テモ本邦ニテハ或部ハ熟知セラレ或部ハ全ク知ラレザルモノアルガ故ナリ

我が國學術界ニ於テ甚ダシク不便ヲ感ズルハ譯語ノ一定セザルコトナリ既ニ某某科ニ於テハ此不便ヲ除カンガ爲メニ諸家合議ノ上一定ノ譯語ヲ用ウルコトニ決定セリ然レモ植物學界ニテハ未ダ其運ビニ達セズシテ依然混亂ノ狀態ニ在リ之レナ以テ邦文ヲ以テ植物學ヲ研究セントスル者ニハ測ルベカラザル困難ヲ感ゼシメツアルヤ明ナリ斯クノ如キハ既定ノ譯語ヲ理由ナクシテ襲用セザルニ因ルモノニシテ甚ダシキハ同一著者ニシテ其著書ヲ異ニスレバ從テ用語ヲ異ニスルヲ見ルノ例乏シカラズ隨テ著者及ヒ書籍ニ依リテ一語ノ意義ヲ異ニシ時トシテ全然相違セルモノニ同一稱呼ヲ附セルモノアリ例セバ Gamete ニハ接合體接合子等ノ譯アリ Zygosporc ニハ休眠芽胞休

眠子、休眠胞子、接合子等ノ譯アリ Zygote ハ接合子ノ譯アルヲ見ル此故ニ接合子トハ如何ナルモノナルヤト問ハルルモ其原語ヲ指示セラルルニ非ザレハ確答ヲ與フルニ由ナカラシム是レ豈ス學界ノ一大缺點ニ非ズヤ此他斯クノ如キ例ヲ舉グルハ決シテ難事ニ非ザルナリ

本書ニ於テハ此混亂界ニ向テ新タナル混亂ヲ與フルコトハ出來得ベキ丈ケ避クルヲ力メ大概從來ノ譯語ヲ選用セリ之レニ關シテハ第一最初ニ用キラレタルモノ第二各部門ノ専門家ノ決定セルモノ第三一般ニ用キラルルモノ第四甚ダシク失當ナラザルコトヲ標準トセリ然レモ往々誤謬又ハ不當ナルモノナキヲ保セス此ノ如キハ讀者ノ指摘ヲ待チテ改訂ヲ期ス又新タニ譯語ヲ考定セルモノアリ之レ本書ノ如ク各部門ニ亘リテ稍ヤ詳述ヲ企ツレバ誰人モ免ルベカラザル所ニシテ此等ノ新譯

語ハ勿論從來ノ譯語ト共ニ傍ニ原語ヲ添ヘタレバ後來之レヲ
參照スルモノニ向テ不便ヲ與フルユト尠ナカルベシ

明治三十八年九月

信越境上ニ於テ

著者識

實驗隱花植物學 目次

總論	一頁
各論	一〇

第一編 菌藻植物

第一章 粘菌植物	一〇
----------	----

〔實驗第一〕

(甲) ぶらすもぢをふをら區	一一
(乙) あらくしい區	一一
(丙) みくそがすたあ區	一三
〔參考書類〕	一四

第二章 分生門	一四
---------	----

(甲) 分生菌類〔實驗第二〕〔實驗第三〕	一五
〔參考書類〕	一〇

(乙) 分生藻類〔實驗第四〕〔實驗第五〕	三〇
第三章 蟲藻門	三六
〔實驗第六〕	
第四章 矽藻門	三三
〔實驗第七〕〔實驗第八〕	
〔實驗第九〕〔實驗第十〕	
〔參考書類〕	四一
第五章 眞藻門	四三
〔實驗第十一〕	
(一) 接合藻類〔實驗第十二〕	四四
(二) 綠色藻類	五五
第一 原子藻亞類〔實驗第十三〕	五八
第二 綠線藻亞類〔實驗第十四〕	六三
第三 囊藻亞類〔實驗第十五〕	六六

(三) 輪藻類〔實驗第十六〕……………七〇

〔參考書類〕……………八一

(四) 褐色藻類……………八一

第一 等動子類〔實驗第十七〕〔實驗第十八〕……………九二

第二 異動子類……………九六

第三 圓孢子類〔實驗第十九〕〔實驗第二十〕……………九六

(五) 紅色藻類〔實驗第二十一〕……………一〇四

第一 うしけのり亞類〔實驗第二十二〕……………一二五

第二 眞正紅色藻亞類……………一二七

(一) うみそらめん區〔實驗第二十三〕……………一三八

(二) すぎのり區……………一三二

(三) ダルス區……………一三三

(四) クリプトネミア區……………一三三

〔參考書類〕……………一三三

第六章 真菌門……………一三四

(一) 藻菌類……………一三〇

(甲) 接合菌族〔實驗第二十四〕……………一三一

(乙) 游走菌族〔實驗第二十五〕……………一三三

(二) 擔子菌類……………一三六

第一 半擔子菌亞類……………一三八

第二 真正擔子菌亞類……………一四三

(甲) 多胞擔子菌族〔實驗第二十六〕……………一四三

(乙) 單胞擔子菌族〔實驗第二十七〕〔實驗第二十八〕……………一四九

(三) 子囊菌類……………一五五

第一 〔半〕子囊菌亞類……………一五七

第二 真正子囊菌亞類〔實驗第二十九〕〔實驗第三十〕……………一五八

(四) 不完全菌類……………一六三

〔參考書類〕……………一六三

附地衣類……………一六三

[參考書類] 一六七

第二編 苔蘚植物

第一章 蘚苔門 一六八

(一) 苔類 [實驗第三十一] 一六九

(二) 蘚類 [實驗第三十二] 一八〇

第一 みづごけ亞類 一九四

第二 くろごけ亞類 一九六

第三 ほそごけ亞類 一九六

第四 すざごけ亞類 [實驗第三十三] 一九六

[參考書類] 二〇三

第二章 羊齒門 二〇三

(一) 羊齒類 二〇八

第一 真正羊齒亞類 [實驗第三十四] 二〇九

(甲) 直正孢子羊齒族 [實驗第三十五] 二一四

(乙)	真正孢子羊齒族	二二七
第二	水生羊齒亞類〔實驗第三十六〕	二二九
	〔參考書類〕	二四〇
(二)	木賊類〔實驗第三十七〕	二四〇
	附化石木賊類	二五二
(三)	石松類	二五一
第一	無舌石松亞類〔實驗第三十八〕	二五四
第二	有舌石松亞類〔實驗第三十九〕〔實驗第四十〕	二六四

索引

術語索引

和名索引

學名索引

實驗隱花植物學

理學士 遠藤吉三郎著

總論

植物全般ヲ通覽シ其形狀性質等ニ依リテ之レヲ分類セルハ決シテ近來ノコトニ非ズシテ歐洲ニ在リテハ既ニ第十六世紀ノ頃ニ於テ早ク行ハレタレモ其分類ノ方法ハ單ニ外觀ニ基キタルモノニシテ之レヲ菌類、蘚類、羊齒類、松柏類、蘭類、蝶形花類等ニ分チタリ是レ動物ヲ分類シテ獸鳥、魚、蛇ノ諸類ト爲セルト等シク非科學的ナルハ勿論ニシテ我カ國ニ於ケル古キ本草學者ガ同世紀頃分類セルモノト其軌ヲ一ニセリ

植物ヲ分チテ顯花植物ト隱花植物トノ二大部門ト爲シタルハ林那氏ニシテ之レニ先タチテレール氏ハ之レヲ無花植物ト有花植物トノ二ニ區別シタレモ植物ノ眞意義ヲ解シテ分類セシハ全ク前者ニ在ルヲ以テ其名稱今日ニ至ルマデ依然トシテ襲用セラレ永ク其卓見ヲ紀セリ然レモ林氏ガ所謂二十四綱ヲ創定セル時代ニ

菌類トハ密接ナル聯關アルモノニ非ズト唱フ

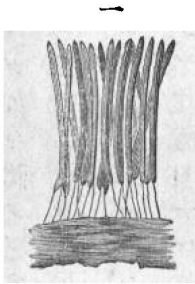
半流動體ノ體中ニハ數多ノ細胞核ヲ有シ其他粒狀ノ含有物ヲ有スルノ外ニ別ニ著シキ分科ヲ見ル能ハズ然レモ其或時期ニ達スレバ半流動體ノ原形質塊ハ一定ノ方則ヲ以テ結合シテ團塊トナリ無性的ニ孢子ヲ形成ス

〔實驗第一〕 夏期濕潤ナル時ニ當リ庭園或ハ野外等ニ於テ濕リタル落葉枯木ノ半バ腐敗シタルモノヲ精査スレハ屢々第一圖ニ示シタル如キモノヲ發見スルコトアルベシ其色黑褐色ニシテ之レニ觸ルレバ微細ナル暗黑色ノ粉末ノ飛散スルヲ見シ之レ即チ粘菌植物中最モ普通ナル種類ニシテびらうどたけト稱スルモノナリ

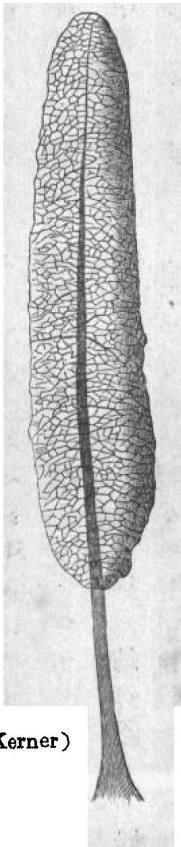
今精シク之レヲ觀察スレハ夫ノ群體ハ紡錘形ヲ爲セル小囊ニ短柄ヲ附シタ

- (一) びらうどたけノ孢子囊群
- (二) 同上ノ一個ヲ取り廓大シテ示ス網狀ヲ爲セルモノハ子絲ナリ

第一圖



二



(Kerner)